

事件や加波山^{かばさん}事件などが起こりました。

明治10年（1877年）に河野^{こうのひろなか}広中を中心に約80名の人たちが参加して、三春に「三師社^{さんししゃ}」という政治結社を作りました。

さらに、明治14年（1881年）には、三春に「正道館^{せいどうかん}」という政治教育をする塾もできました。

やがて自由民権運動は全国各地に広がりました。明治22年（1889年）に憲法が発布され、明治23年には、第1回の衆議院選挙が行われました。



河野 広中 (1849～1923)

- ・明治から大正にかけて活躍した政治家で、自由民権運動などに深くかかわった。
- ・三春の郷土出身。
- ・衆議院に三春町から出馬し14回当選。のちに衆議院議長や大臣も努めた。
- ・大町の紫雲寺に「えいはつちょう」（河野の髪の毛を収めた塚）がある。お墓は、東京の護国寺にある。

※ 三春歴史民俗資料館 自由民権記念館 展示資料

(2) 馬車鉄道と平郡線の開通（明治から大正へ）

東北本線が全線開通したのは明治24年（1891年）ですが、明治20年には、郡山と白河間が開通していました。

明治24年（1891年）に、三春と郡山間の交通を便利にするために馬車鉄道を通しました。

福島県で最初の馬車鉄道で、三春の中町から郡山の駅前までの間に線路をしき、ラッパをならして通る馬車の鉄道でした。

馬車鉄道を利用しても、そのころ三春から郡山まで行くのに、1時間20分以